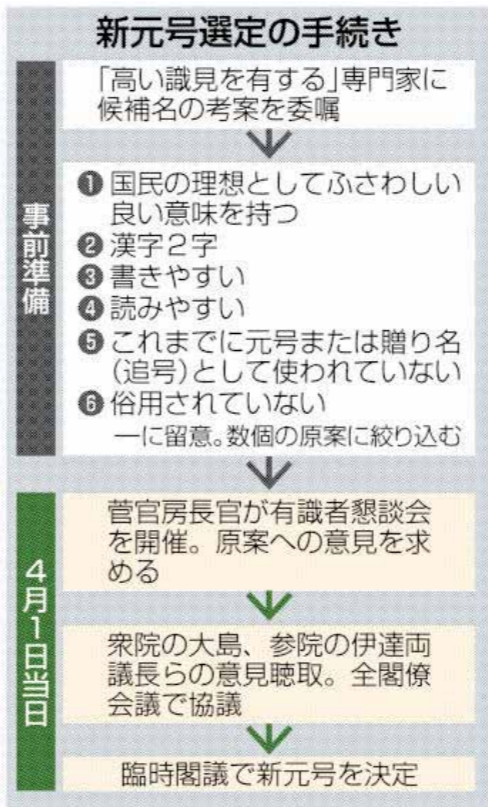


時代映す独自の文化

手順「平成」を踏襲

新元号選定の手続きは、1989年1月に「平成」へ改元した際の手順を踏襲した。政府の事前準備で、「高い識見を有する」複数の専門家に絞り込む事前準備を経て、4月1日は有識者委員から意見聴取など

分刻みのスケジュールの中で新元号を決定し、菅義偉官房長官は「国民の理想としてふさわしい良い意味を持つ」漢字2字の書きやすい「読みやすい」これまでに元号または贈り名(追号)として使われていないことに留意。数個の原案を選定し、その後、各界を代表する有識者を首相官邸に招いて元号に関する懇談会を開き、原案へ



の意見を求めた。衆参両院の正副議長からの意見聴取も実施。これらの議論を踏まえ、全閣僚会議で協議し、最終的に臨時閣議で新元号が決まった。

新元号公表までの主な経過

2016年8月8日	天皇陛下が退位の意向をにじませたビデオメッセージ公表
17年5月19日	政府が天皇陛下下一代に限って退位を実現する特例法案を国会提出。改元の政令は国民の意見を聞く「ブリックコメント(意見公募)」の対象外と規定
6月1日	衆議院運営委員会が特例法案の採決に合わせ「改元に伴って国民生活に支障が生ずることがないようにする」との付帯決議を採択。参院側も同日に採択
9日	特例法成立
12月1日	皇室会議で天皇陛下の退位日を19年4月30日と決定。皇太子さまが翌5月1日に新天皇に即位、改元
8日	閣議で退位日を正式決定
18年5月17日	政府が新元号の公表時期を改元の1カ月前と想定して準備を始める方針を決定
6月5日	超党派の保守系議員による「日本会議国会議員懇談会」が、新元号公表は新天皇の即位日である19年5月1日を原則にすべきだとの見解を公表
8月6日	自民党保守派が、新元号公表は新天皇の即位後とすべきだと菅義偉官房長官に要請
19年1月4日	安倍晋三首相が年頭記者会見で新元号を4月1日に公表すると表明
4月1日	新元号公表

解説 政府が新元号を決定した。利便性などから西暦を使うことが増えたといえ、1300年以上の歴史を経て、日本の独自文化として定着している。新時代への思いを託す人もいるだろう。世界で唯一、元号制度が残る国として一度、意義を捉え直す機会とした。

意義捉え直す機会に

元号は古代中国が発祥で、「皇帝が時を支配する世の中ではないのに、なぜ皇位継承する」との考えに基づく。日本の元号も長年天皇が定め、その権威を高めてきた面は否めない。だが戦後、日本は新憲法の下で主権在民の国家となった。天皇が威を高くしてきた面は否めない。一方、元号への批判的な意見は以前ほど高まっているのも事実だ。共同通信の世論調査で、元号への強い拒否反応はみられない。日本人は、「安政の大獄」や「明治維新」など大事件や歴史の転換点を元号で記憶し、単に時代を表示する手段ではない意味を見いだしてきた。味わいのある文化として評価する声もある。ただ同時に、時代の区切り方は個人の自由で多種多様な元号に縛られるものではない。今回の新元号公表は、そんな元号の是非を考える契機となる。

「明治」はくじ引きで

平成に代わる新元号が生じた。一世一元制を採用した明治以降の改元作業を振り返った。

明治

朝廷で新元号候補について議論を交わす「難陳」を廃止し、改元前日の1868年10月22日夜、学問をかさどる公家の菅原家などが提出した複数候補の中から新天皇がくじを引き、「明治」に決めた。くじによる元号決定は前例がない。考

大正

案したのは式部大輔の菅原在光とされる。明治天皇の逝去直前、西園寺公望首相が元号を考案するよう指示。学者らが提出した案から大正、天興、興化の3案を天皇の諮問機関「枢密院」へ提出し、新

昭和

天皇が1912年7月30日に「大正」と勅定した。考案者は内閣書記官室嘱託の国府種徳とされる。病弱の大正天皇が21年から療養に専念したため、一木喜徳郎宮内相が宮内省の吉田増蔵図書纂修官に新

平成

79年6月に成立した元号法に基づき、政府が決めた

明治から平成までの元号を巡る主な経過 (肩書は当時)

1868年10月23日	改元の詔書で慶応4年を「明治」の元年と改め、一世一元制を採用する(写真①)	
89年2月11日	旧皇室典範が定められ、第12条で一世一元制を法定	
1909年2月11日	皇位継承儀式に関する登極令を制定。元号の天皇勅定を明記	
12年7月30日	明治天皇逝去。「大正」に改元(②)	
26年12月25日	大正天皇逝去。「昭和」に改元(③)	
46年11月8日	政府が「元号法案」を閣議決定するも、連合国軍総司令部(GHQ)が反対し、19日の閣議で撤回	
47年5月3日	新憲法施行。旧皇室典範や登極令の廃止、新皇室典範の施行で元号の法的根拠が消滅	
61年7月28日	元号制度などを検討する公式制度連絡調査会議の設置を閣議決定	
79年2月2日	大平内閣が元号法案を閣議決定	
6月6日	政令による元号制定や明治以降の一世一元制を踏襲する元号法が成立、12日に施行	
10月23日	元号候補の考案方法や選定過程をまとめた元号選定手続きを閣議報告	
89年1月7日	昭和天皇逝去。政府は有識者懇談会や衆参両院議長からの意見聴取などを経て、臨時閣議で新元号を「平成」と決定。小淵恵三官房長官が記者会見で発表(④)	
8日	平成が施行	



元号「平成」を発表する小淵恵三官房長官＝1989年1月7日、首相官邸

初元号となった。政府は選挙経緯の詳細を公表していないが、元号法成立後から水面下で中国史などの専門家に考案を依頼した。89年1月7日の昭和天皇逝去直後、有識者による「元号に関する懇談会」を開催。平成、修文、正化の3案を示し、臨時閣議で「平成」に決めた。当時、内閣内政

人と人はみんなの笑顔に、みんなはひとりの笑顔に。

暮らし、大層と頑張るの。JAグループ群馬

